

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2024.10 VOL.114



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



携帯サイト

けんちく茨城

2024.10.4 第114号

page	目次
01	活動報告 大納涼会 (第11回)
04	建築作品紹介 筑波山観光案内所
06	新役員・新支部長に聴く
08	建築士会へようこそ!!
	支部活動報告
10	県央支部 第113回建築セミナー「場の環境と価値」
11	筑西支部 「誰でもできる木造住宅耐震診断」説明会を開催して
12	坂東支部 「坂東市子どもフェスティバルに出店しました」
13	桜川支部 「SAKURAフェスティバルに出店しました」
14	土浦支部 「親子ふれあいイベント」 「亀城モール等ベンチ整備」
16	へリマネいばらき協議会 (H・I・C) 令和6年度通常総会・ステップアップセミナー開催
	委員会活動報告
18	会員委員会 「第32回 チャリティゴルフ大会」 「第14回 ボウリング大会開催」
20	情報・広報委員会 「木造住宅耐震診断士養成講習会」
21	青年委員会 「令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 千葉大会」に参加して 「建築士と学ぶ身近な材料を使った いえづくりワークショップ」
23	女性委員会 わくわくセミナー 「2024.5.25 (土) わくわく見学会：モンゴルレポート」 「スマートハウスについて」 「「ZEB」を学ぼう！」
26	ラブアークセミナー 「ARTISAN水府見学会 ～古民家リノベーションと活用を学ぶ～」 「インテリア講座」 ～今年のデザイントレンドを知る～ 世界最大級のインテリアの祭典 ミラノサローネ セミナー
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	筑波山観光案内所 設計・監理 株式会社河野正博建築設計事務所
発行	令和6年10月4日
次回	令和7年2月5日予定
部数	1,900部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com
編集	情報・広報委員会 相澤 晴夫 梅原 郁夫 児玉 欽司 成田 孝成 軽部 守彦 澤畑 一成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 山田 一博 谷島 正憲 茂垣 直樹
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷



携帯サイト



乾杯 事務所協会 河野会長

活動報告

茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会 合同開催

大納涼会(第11回)

令和6年7月12日(金) 午後5時から
ホテル・テラスガーデン水戸

■ 総務・企画委員長 小川 憲一

昨年に引き続き、建築士事務所協会との合同開催である大納涼会が開催された。コロナ渦を経て昨年は久々の開催であり、感染症法の5類に移行してすでに1年以上が経っている。しかしながら最近コロナ患者が全国的に増えていることを受けてだろうか？マスク姿で来場する参加者も見受けられた。本年は建築士会側が幹事を務め、参加者は来賓、正会員、賛助会員、建築士事務所協会を合わせ総勢182名となり、ほぼ前回同様の参加人数となった。

幹事会である柴和伸建築士会会長の主催者挨拶で始まり、続いて来賓の田所嘉徳衆議院議員、顧問であり自民党茨城県連会長である海野透県議会議員、同じく顧問である伊沢勝徳県議会議員、木本信太郎県議会議員、高橋靖水戸市長よりそれぞれ挨拶をいただいた。

また来賓には梶山弘志衆議院議員秘書の宇留野洋治様、茨城県建築三課より建築指導課山田課長、営繕課小林課長、住宅課中島課長にご出席をいただき、早速、茨城県建築士事務所協会会長の河野正博様による乾杯の発声で納涼会の宴に入った。今年は会場前のウェディンググルームを活用し、テーブルを配置したので会場内も多少ゆとりができたのではと思っている。例年同様、暑気払いという意味で御来

賓も含め、各会員相互や賛助会との交流が活発に図られて大変有意義な催しとなったが、私なりに2点ほど反省点があった。それは料理の量である。毎回の悩みではあるが、来場者に対しどの程度提供すれば過不足

無いのか？今回皆さん食欲旺盛だったのか、料理の量が少なかったためなのか、コンパニオンさんががんばって各テーブルに給仕しただけなのか？真ん中に盛りつけられた料理が後半に入りほぼ無くなっていった。来年は協会側が幹事ではあるが、料理の量についてはご検討いただけると幸いと感じた次第です。もう1点は受付での客さばきで、これも毎回のこととはいえ、名簿のチェックと同時に参加費と領収書の受け渡し等、また一人づつだったりまとめてだったり、結構受付は大変です(^_ ^)。なんとかもう少し余裕のあるようにならないかと考えて、委員長として反省している次第です。

そういうこともありつつ、会は盛況のうちに進み、中締めは建築士会賛助会の代表幹事である大竹伸一様の手締めで、賑やかな雰囲気うちに終了致しました。

<式次第>

- ・開会の言葉
- ・主催者あいさつ
- ・来賓あいさつ
- ・来賓紹介
- ・お祝いの贈呈
- ・乾杯
- ・中締め



田所 嘉徳
衆議院議員
(本会顧問)



高橋 靖
水戸市長
(本会顧問)



海野 透
茨城県議会議員
(事務所協会顧問)



伊沢 勝徳
茨城県議会議員
(本会顧問)



木本 信太郎
茨城県議会議員
(事務所協会顧問)



柴 和伸
茨城県建築士会会長



県央支部・賛助会



桜川支部



筑波・筑西支部



県央・桜川・賛助会



賛助会



株式会社 河野正博建築設計事務所
〒305-0817 つくば市研究学園 5 丁目 6-6 D12-510
TEL.029-861-8847 FAX.029-861-8848
E-mail info@kono-arc.com Web http://www.kono-arc.com

建築設計・監理 耐震補強 特殊建築物定期報告

Architectural Design

株式会社 相澤建築設計事務所



代表取締役 相澤 晴夫

〒300-1256 茨城県つくば市森の里1169-2

TEL : 029-876-0617 FAX : 029-876-0679

E-mail : info@aizawa-arc.co.jp

URL : http://aizawa-sekkei.com/



筑波山観光案内所

建築作品紹介

意匠設計

本設計は、筑波山を訪れた多くの観光客と登山客が利用する「筑波山観光案内所」の改築工事である。場所は、筑波山中腹、筑波山神社の赤い大鳥居の近くに建設された。

門前町としての景観デザインを重視した本建物は「賑わい・憩い・安らぎ」を設計理念に据え、国内外のあらゆる方が利用することを想定し、各所に優しい木の温もり、暖かな日差し、人々の交流から生まれる喜びを感じられる場にふさわしい空間となるように計画した。

利用時間が異なる、観光案内所と公衆トイレをひとつの建物に見えるように、屋根を連続させ、周辺環境との調和を図り、土地の高低差を活かしたデザインとした。

ダイナミックなプロポーションでありながら、簡素化した木造構造のシステムは、木の温かみを感じさせる。また、デッキ部を含めた内部空間には、大きく開放されたガラス面を設けたことで周辺環境と

の一体化を図り、大パノラマから筑波山が織りなす四季折々の美しい風景を楽しむことができるようにした。

案内所を訪れた方々が、筑波山の魅力に気づき、この地域をさらに好きになって頂けることを期待したい。

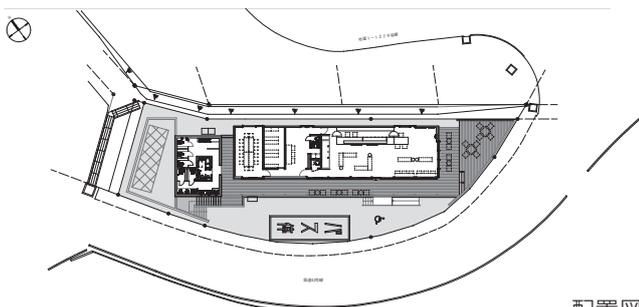
構造設計

本建物は、木造+壁式鉄筋コンクリート造の混構造建物である。

敷地環境は道路に沿って勾配があり、建物北側には高いL型擁壁が存在する。

建物配置は、擁壁側に寄せて配置されている。

筑波山腹地層は、大きな玉石が出るのが広く知られている。それらを踏まえた基礎設計の方針として施工性を考慮し、基礎底盤を支持地盤の勾配に合わせて根入れが浅い布基礎とした。



配置図



北側

敷地が斜めのため、全体的には高床構造となっており、1階では全面的にRCスラブとして建物の一体性を確保した。トイレ下層では機械室が計画された壁式鉄筋コンクリート造となっている。

1階平面道路側には筋交いが少ないため、屋根面の剛性を高くして水平力を筋交いまで伝達出来るように計画した。

設備設計

空調方式は、勾配天井で天井懐が無く空調設備設置スペースを確保することが困難なため、木造の利点を生かした、床下空間を有効に活用する床下吹出方式とした。空調の居住域を中心とした効率的な空調により、コールドドラフトを防ぎ快適な室内空間を提供するとともに、省エネルギーを図った。

■建築概要／筑波山観光案内所改築工事

- 竣 工：令和4年3月15日
- 発注者：つくば市長 五十嵐 立青
- 設計・監理：株式会社河野正博建築設計事務所
- 施工：飯岡建設株式会社
- 場所：茨城県つくば市筑波1222番2
- 工期：令和3年7月29日～令和4年3月15日
- 用途：観光案内所・公衆便所
- 敷地面積：626.03㎡
- 建築面積：274.23㎡
- 延床面積：295.95㎡
- 最高高さ：6.141m
- 階数：地上2階
- 構造：木造一部鉄筋コンクリート造
- 写真：齋藤さだむ



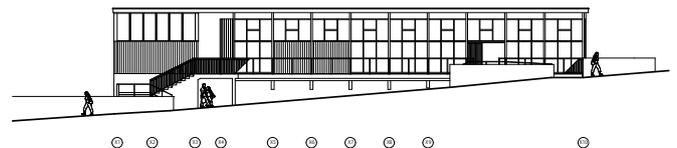
東南



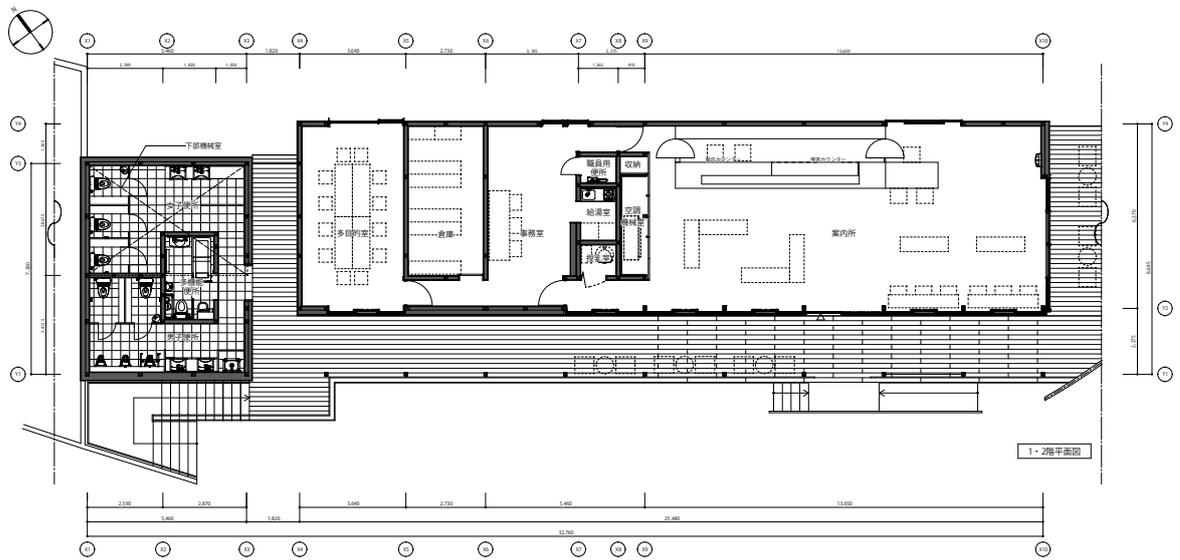
男子トイレ



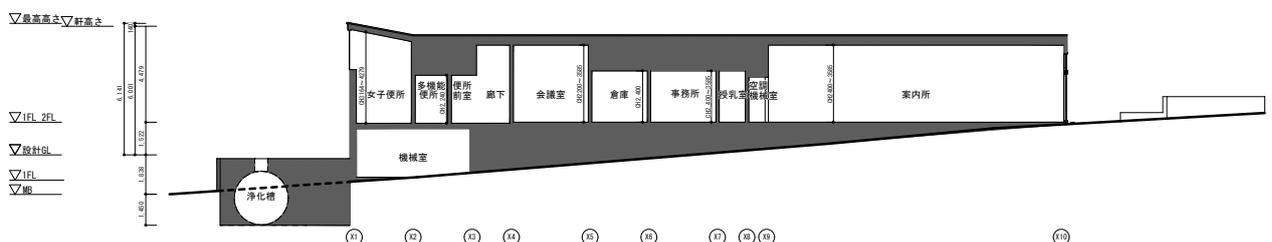
デッキ



南西立面図



1・2階平面図



断面図

新役員・新支部長に聴く

(今年度、新たに就任された方にお聞きしました)

副会長就任挨拶

副会長 筑波支部顧問
相澤 晴夫



この度、茨城県建築士会副会長の大役を仰せつかりました事、大変身の引き締まる思いでございます。士会歴としては、龍ヶ崎支部に入会后市町村合併の事も

あり筑波支部に移籍致しました。その後2016年から4年間筑波支部長を務めさせて頂き約40年が過ぎようとしております。県南ブロックの各支部の皆様とも年に数回の会合を開催させていただいておりますが、各支部会員数の減少問題や高齢化等もあり支部活動もスパイラル的に縮小化に進んでいるように思われます。会員の懇親を目的としているソフトボール大会、ボーリング大会等も同じ様な状況ですが、受け身ではこの状況から抜け出せないと考えています。

士会の目的でもありますが災害時の県民皆様の財産の保護・まちづくりの推進、公共の福祉の貢献等建築士でなければできない事がたくさんあります。この目的を推し進めるには我々自身の活動が楽しくなければ維持邁進していくことは不可能と思います。

各支部の活動が活況を呈してくれば茨城建築士会そのものが元気になり、社会への貢献が可能となります。そのためには若いエネルギーが必要と感じます。

士会で現在も推し進めております様に、行政・教育・各種団体等とのつながりを強くして建築士会をよく知って頂き活動への理解を頂く事が何よりです。

『さあ、建築士会への声掛け運動』をきっかけに若人を募り、会の活性化を会員の皆様のお力をお借りしながら楽しく進めたいと考えますのでより一層のご協力を切にお願いしご挨拶とさせていただきます。

常務理事就任挨拶

常務理事 土浦支部相談役
鈴木 啓之



この度、(一社)茨城県建築士会常務理事を拝命することになり、身の引き締まる思いであります。

建築士会は資格団体であり、設計・建設・行政等に関わる様々な仕事に従事している個人の集まりです。よって多岐にわたる要望があるのではないかと思います。きめ細かなサービスを提供できる仲間づくりが必要です。

その為には親睦がとても大事だと思いますが、それだけでは無くアカデミックな社会貢献・民族歴史のある建物の保存や活用により尽力できればと思っています。



皆様のご協力を頂きながら精一杯努めさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

災害の時に短に有るもので簡易シェルターとして使えるものを探す趣味の一環で、建築材料を過酷な自然環境でテストしてみました。写真にあるタイベックで作ったタープは中で焚き火も出来き、防水性・難燃性・軽量化に優れ秀逸な道具となりました。ブルーシートやポリフォームのタープもテストしてみました。耐久性と難燃性が弱いようです。



支部長就任挨拶

久慈支部長
渡辺 聡



この度は建築士会久慈支部長に就任することとなり、これまで務めてこられた先輩方の功績に少しでも近付けるよう、皆様のお力をお借りしながら努めさせていただきます。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

この原稿を書くにあたり、二十数年前建築士会に入会した際に、「新入会員のご紹介」で何を書いていたか当時の原稿を読み返してみました。

『プロフェッション』と題して、「・・・建築士にとって、新しい時代の枠組みの中で生き残っていくためには、次々に細分化する専門分野と、それらを統合する学際的な思考との間で、プロフェッションとしての責務をまっとうすべく、基礎的な知識をより確実なものとし、新しい時代に即応した柔軟性のある豊かな発想と思考方法が求められていることは言うまでもありません。プロフェッションとして、その基礎をなす学識への信頼と個々の人間性に対する信頼を得ることによってのみ、社会的地位と自主性を獲得できる立場にあることを痛感しています。」と、書いていました。

平成から令和へと時代は変わり、IT、AIなどの急速な技術革新や、多発する（日常化する？）自然災害に対して、私たちを取り巻く環境の変化と時代の変革の中で、建築に何が求められているのか、建築士としてどうあるべきか、まさに問われているのだと強く感じています。

支部長就任にあたり、支部の活動の中で感じていることは、支部会員の多くが50代以上で、支部活動や会議、支部総会でさえも、出席してくださる会員は常に限られているメンバーだけで、若い人たちの新規入会、活動への参加がほとんど見られないという現状です。

会員が増えない中ではありますが、若い会員の皆様の積極的な参画が望まれるところであり、参画し易いオープンな環境を整えていくことが、まず私のなすべき使命かと考えます。

北茨城支部長に就任して

北茨城支部長
村山 潤一



2024年度茨城県建築士会北茨城支部の支部長に就任いたしました村山潤一です。今年度5月北茨城支部長に就任しまして深く思うところがありました。

長年北茨城支部に在籍しながら支部の活動に大きな問題意識を持つこともなく参加していたことを強く感じ、歴代支部長の存在に甘んじていたことを深く反省します。

茨城県建築士会の理事会に出席しましても常に議題にあげられている会員増強は必須命題を感じます。支部においても全く同じ状況にあります。

毎年誕生する新しい建築士資格者は茨城県下で150名余りと言われます。とすれば私たちの支部にもその誕生者は存在し減少数を超えて建築士は増加している筈です。

それぞれの資格者は自分の仕事や立場に於いてその資格の有効性を十分活用されていることと思います。そこでもう一つ願うのはその資格と技能を豊かな独創性に留まることなく自分を超えて地域の為に活用していただきたいことです。その気持ちと意欲の受け皿が各支部建築士会です。

建築士集団の技術や技能は私達地域の広域的な生活環境に大きく影響を与え良好なものにする可能性はとて大きなものです。

私達の支部地域に潜在的建築士がどれほど存在しているのかを考えるととてもワクワクしてきます。

その状況を丁寧に確認する作業が支部会会員増強活動のスタートと考えられます。

会員増強活動を念頭に置いて2024年度事業計画を進めてまいります。



Welcome 建築士会へようこそ!!



岡田 一吹 22歳
支部名：土浦支部

- ①岡田 一吹 22歳 土浦支部
- ②株式会社 ネロデザイン
- ③この度、茨城県建築士会に入会いたしました岡田と申します。皆様にお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願いたします。
- ④会員の皆様との交流を通じて、見聞を広め自己の成長へうながしていければと考えております。
- ⑤講習会、見学会等に参加していきたいと考えております。
- ⑥建築を通じて、地域に貢献できるよう努めていきたいです。

①三上仁志 23歳 土浦支部

②有限会社けっそく設計

③この度入会をさせていただきました三上と申します。茨城の建築業界を支える一員として、末席ではございますが頑張っていきたいと考えております。

④これから沢山の同業界の方、また建築との出会いを楽しみにしております。

⑤最前線の建築技術から、茨城の建築文化まで幅広い知見に触れられる機会を望みます。

⑥資格の取得と、その資格が表面上のものにならないようにする裏打ちとなる技術の習得。



三上 仁志 23歳
支部名：土浦支部

人とふれあう豊かな街づくり



株式
会社

第一設計

代表取締役 山田 博則

写真：国営ひたち海浜公園

【本 社】〒312-0023 ひたちなか市大平3-5-3
TEL：029-274-3056 FAX：029-274-4604 E-MAIL：daiichi@intio.or.jp
URL：http://www.daiichi-design.jp

- | | |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的 |
| ②勤務先 | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介 | ⑥建築士として将来の目標 |



飯島 健介 40歳
支部名：結城支部

- ①飯島 健介 40歳 結城支部
- ②結城市役所都市計画課
- ③この度、茨城県建築士会に入会させていただきました、飯島と申します。
建築士会を通じて、たくさんの方と交流できることを楽しみにしています。よろしくお願いたします。
- ④講習会や、会の集まりを通じて、建築について多くのことを学びたいと思い、入会しました。
- ⑤講習会や見学会に参加したいです。
- ⑥研鑽を怠らず、地域に貢献できるようになりたいです。

- ①齋藤 瞭汰 27歳 竜ヶ崎支部
- ②龍ヶ崎市役所
- ③この度、入会させていただきました齋藤と申します。未熟な若輩者ではありますが、何卒よろしくお願いたします。
- ④可能な限り講習参加し、建築の知識や経験を深めていきたいです。
- ⑤講習会や現場見学等
- ⑥地域に貢献できる建築士になりたいです。



齋藤 瞭汰 27歳
支部名：竜ヶ崎支部

OOMA 株式会社 大山都市建築設計
Oyama Office for Metropolitan Architecture
<https://ooma.co.jp>

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56
TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006
E-mail: info@ooma.co.jp

OOMA-MITO 水戸設計室
〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102
TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341



「yodge」 福島県玉川村

第113回建築セミナー「場の環境と価値」



講師 照内 創 氏 (株)SO&CO代表

8月7日(水) 県央支部主催
113回建築セミナーが開催されました。

「場の環境や価値をどう捉え、
継承していくか、その時建築は
どのような環境や価値を生み出すことができるか」
と様々な作品を通じ講演していただきました。

2021年に福島県玉川村の分校を宿泊施設+飲食施設に改修した「yodge」の紹介です。歴史的、文化的な価値を持つ廃校となった場を活かし、既存の使える物を残しつつ、地域の方々が気兼ねなく立ち寄れる場所とし、以前から続いていた地域の夏祭りの開催や農業体験等ができる体験型宿泊施設となり、また地域に密着した交流施設ともなっています。



セミナー会場の様子

「銀座の小さな塔」は旗竿地に立つテナントビルで、竿地に建物を配置し、階段室より細長い室内への自然光の配慮もされていました。

その他さまざまな作品の紹介もあり、「yodge」では多数の賞も受賞しており、ぜひ訪れてみたい施設の一つでした。講演中は参加者も傾聴し、有意義なセミナーとなりました。



「銀座の小さな塔」 東京都中央区

「誰でもできる木造住宅耐震診断」説明会を開催して

令和6年5月25日（土）に筑西市民を対象とし応募のあった12組に「誰でもできる木造住宅耐震診断」説明会を開催しました。この取り組みは、元旦の「能登半島地震」を受けて、筑西市まちづくり課からの要請で筑西支部会員がボランティアとして実施しました。

日本防災協会が作成した「誰でもできるわが家の耐震診断」を用いて居住者が自ら診断できるように、建築士会の会員が入力の方法や注意点を講義しまし

た。その後、居住者が診断する時点でも建築士会の会員たちがお手伝いする形として、診断に間違いが無いように注意を払いました。応募者に苗木の配布も行いました。

後日、建築士会の会員が2人1組で2件、現地調査を行いました。1981年5月以前の建物は見るからに耐震性が不十分だと分かるものでした。このような建物は、このまま耐震補強設計を実施するのが費用面でも良いのではないかと感じました。



茨城県西地域の未来を創造する

軽部建築設計事務所

〒304-0061 茨城県下妻市下妻丙47番地

TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643

E-Mail: karube@karube-ao.com

Home-Page URL: www.karube-ao.com

「坂東市子どもフェスティバルに出店しました」

令和6年6月9日坂東市岩井公民館前の広場にて第30回坂東市子どもフェスティバルが開催されました。当日は好天に加え真夏のような暑さでした。

子ども育成会で、市内の小学校13校、ライオンズクラブ、青年会議所、ボーイ・ガールスカウト、境警察、岩井消防署、自衛隊、建築士会等が参加しました。

今回、坂東支部では、木工教室をメインに本棚、椅子、ティッシュBOXのキットを用意して、参加

者に金槌で組み立て作業をしてもらいました。

日頃から子どもさん達も、金槌を持ったこともない作業を楽しんで組み立てていました。

その他に正方形の板に好きな絵を自由に描いてもらい、電動糸鋸で切り抜き、壁掛け用に紐を取り付けてさし上げました。参加された方々にブルーベリーの苗木を配布しました。

皆さん大変喜んでお帰りになりました。



開場前にスタッフ一同



開店準備完了



正方形の板にお絵描き



木工キットをお母さん注文

「SAKURAフェスティバルに出店しました」

令和6年4月13日に桜川市総合運動公園ラスカに第9回SAKURAフェスティバルが開催されました。天候も良かった為多くのお客さんと賑わいました。

今回、桜川支部では、昨年と同様、苗木配布及びオリジナルキーホルダー販売を行いました。昨年と異なるところは、オリジナルキーホルダーの廃材サイズを統一し、流れ作業が行えるように工程を見直しを行い待ち時間の短縮をはかりました。自由に文字が設定出来る為、格言やクラブチーム名等はじめ文字変化出来るマーク、多種フォントも有り作成時間の短縮をはかる事が難しかったです。次回までには今回

の反省点を改善し、お客様にニーズに答えられる様会員一同精進したいと思います。



苗木配布



オリジナルネームプレート作成販売





集合写真

「親子ふれあいイベント」

6月1日(土)支部賛助会員のLIXILさんにご協賛をいただき、鹿島アントラーズサッカー観戦に行ってきました。場所は東京オリンピックの会場となった国立競技場でのホームゲームです。土浦から大型バスで出発し、バスの中ではビンゴ大会を開催。LIXILさんからご提供をいただいたサイン入りユニフォームなどの景品に子供も大人も大興奮し、観戦気分が盛り上がります。高速道路を降りると、列柱と木ルーバー庇のバランスが美しい国立競技場が見えてきました。到着後は自由時間で、競技場見学やスタジアムグルメを楽しみ、皆思い思いに過ごしました。試合が始まると迫力あるサポーターの応援に合わせて子供たちも大きな声援を送ります。試合の結果は点の取り合いを見事に制した鹿島アントラー

ズが勝利し、興奮冷めやらぬまま帰路につきました。あっという間の1日でしたが、参加した皆さんも大満足の様子でした。

国立競技場の雰囲気を感じながら、臨場感あふれるスタジアムでの観戦はとても良い経験になりました。



ビンゴ大会で当たったユニフォームを着て観戦



フラッグを振って応援



鉄骨と木の大屋根は圧巻

「亀城モール等ベンチ整備」

土浦駅西口と土浦城址である亀城公園の中間地点に、中心市街地活性化事業の一つとして、近年、亀城モールという遊歩道が整備されたのですが、このたび土浦支部は、亀城モールを中心に、ベンチ7基の設置の業務委託を土浦市より請負いました。弊支部としまして、今まで、まちづくり活動の一環として、また、土浦市より認定されている景観まちづくり団体の補助金を活用して、いくつかベンチを整備してきました。今回はその実績を認められての業務委託です。土浦市は昨年末、歴まち（歴史的風致維持向上計画）の認定を国から受け、歴史的資源を活かしたまちづくりに舵を切っております。弊支部としまして、その趣旨に沿って活動しており、歴史

的建造物の悉皆調査、登録文化財申請のための調査等を行ないながら、土浦らしい景観形成を意識して、小さなものでも形として残していく、まちづくり活動を行なっています。



旧滝の前広場・バス停



亀城モール

建築・設計・施工



梅原材木店

一級建築士・一級建築施工管理技士・一級土木施工管理技士

〒316-0004 日立市東多賀町2丁目12番6号

TEL 0294 (33) 0034

FAX 0294 (36) 3288



土浦市民会館 国登録有形文化財への取り組み：鬼脇正徳

ヘリマネいばらき協議会 (H・I・C) 令和6年度通常総会・ステップアップセミナー開催

■世話人補佐 梶 ひろみ

令和6年9月1日（日）台風10号の影響も残り不安定な天気の中、ホテルウエストヒルズにおいてヘリマネいばらき協議会 令和6年度通常総会を開催することができました。

東日本大震災後の平成24年から3年間3期を実施したヘリテージマネージャー育成研修の翌年、平成27年に研修修了者で発足した当協議会も今年度で10年目を迎えました。地震だけでなく各地で頻発する自然災害に対応し、全国のヘリテージマネージャーがブロック毎にネット

ワークを作り、大切な歴史的建造物を守るため災害時の協力体制を構築する動きも進んでおり、武村代表世話人より関東甲信越ブロック準備会の状況報告もありました。

また、各市町村により差はありますが、近年教育委員会文化財担当課において進められている「文化財保存活用地域計画」策定の中で、地域のヘリテージマネージャーに建造物調査依頼がある他、文化財建造物の傷みや改修工事の相談が寄せられることも増えてきていて、総

会後のステップアップセミナーでは、各地域の協議会メンバーによる興味深い報告が並び、少々時間不足でしたが今後の活動の参考事例として情報共有出来ました。ヘリテージマネージャーの活動は地域ごとに様々に展開され、次年度の活動報告も楽しみです。



亀ヶ崎商店街に残る「川北邸」の保存活動：眞鍋道子

以下、内容と報告者をご紹介します。

- ・土浦市民会館 国登録有形文化財への取り組み : 鬼脇正臣
- ・竜ヶ崎市商店街に残る「川北邸」の保存活動 : 眞鍋道子
- ・茨城県指定有形文化財 鴨鳥五所神社本殿保存修理工事 : 武村実
- ・常陸大宮市指定有形文化財 那賀鹿島神社本殿改修工事 : 梶ひろみ・長山智子
- ・潮来祇園祭礼 七間町山車の木組車輪製作報告 : 古谷野勝次
- ・日立地区ヘリテージマネージャーによる「ひたち歴史的建造物調査会」発足報告 : 梅原郁夫



茨城県指定有形文化財
鴨鳥五所神社本殿保存修理工事
: 武村実



常陸大宮市指定有形文化財
那賀鹿島神社本殿改修工事
: 梶ひろみ・長山智子



潮来祇園祭礼 七間町山車の木組車輪製作報告
: 古谷野勝次



ヘリマネいばらき協議会 (H・I・C)
事業計画案等の報告 : 高橋文男

「第32回 チャリティゴルフ大会」



第32回茨城県建築士会チャリティーゴルフコンペが7月4日（木）に富士カントリー笠間ゴルフクラブにて行われました。今年も多くの会員・賛助会員（総勢115名）の方々に御参加いただき、熱戦が繰り上げられました。

大会ルールは新ペリア方式で行われ、結果は個人の部は同スコア同率ネットで柿本和彦氏（賛助会員・日建学院）斎藤哲広氏（賛助会員・板金組合）2名の気迫ジャンケンで柿本氏が優勝を勝ち取りました。



優勝 柿本和彦氏

珍しいことに今回は同スコア同率ネットの順位が17組もあり運営陣も戸惑いましたが参加者全員に、賞品が授与され、ニアピン賞・ドラコン賞の発表と優勝スピーチ等和やかなムードの中表彰式は無事に終了いたしました。

最後になりますが、賞品をご提供くださいました会員様、賛助会員様にはご支援をいただき誠に感謝申し上げます。

また来年も多くの方々の参加をお待ちしております。



女子の部はなんと、大会2連覇となる青柳みゆき氏（県央支部事務局）が優勝。団体の部は今回の集計が新ペリアネットスコアの合計で結城支部が優勝となりました。ベストグロス71で小暮真一氏（石岡支部）。

競技終了後は親睦会を兼ねた表彰式が開催され、柴会長の挨拶を始めチャリティー金の贈呈として、高萩市の児童養護施設 臨海学園様にチャリティー金が寄付されました。



O氏 ドライバー

「第14回 ボウリング大会開催」



第14回ボウリング大会が、令和6年8月24日(土)に水戸市の大学ボウルにて、56名の参加者のもと盛大に開催されました。柴会長による始球式で大会がスタートし、多くの会員やご家族、子どもたちが参加しました。参加者はそれぞれのプレイにおいて、一投の行方に一喜一憂しながら全力を尽くし、ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がり、参加者同士でハイタッチを交わす姿が印象的でした。



柴会長の始球式

プレイ終了後には、全員の順位が発表され、拍手とともに表彰式が行われました。優勝者や団体優勝チーム、女子優勝者、子供優勝者には特別な商品が贈られ、参加者全員にも順位に応じて賞が送られました。また、無料のドリンクバーが提供され、参加者はリラックスしながら大会を楽しむことができま

した。最後に、柴会長と参加した子どもたちが写真撮影を行い、和やかなムードの中で大会を締めくくることができました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



優勝 綿引眞一 氏

個人の部

優 勝	綿引 眞一	：スコア314	(賛助会:茨城県解体工業協会)
準優 勝	関根 淳	：スコア307	(賛助会:ミナト防災通信工業株)
3 位	島田 哲	：スコア302	(石岡支部)

団体の部

優 勝	石岡支部	(上位3名のトータルスコア：852)
準優 勝	県央支部	(上位3名のトータルスコア：798)
3 位	事務局	(上位3名のトータルスコア：771)



講習会開始直前の様子

「木造住宅耐震診断士養成講習会」

令和6年度の茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会が、8月9日（金）市町村会館1階講堂にて開催されました。建築士会員、一般ほか行政職員合わせて141名の参加と例年より多くの受講者での開催となり、近年相次ぐ地震への備えの重要性が高まっていると感じました。

茨城県土木部都市局建築指導課の山田陽一課長より主催者挨拶、同課の箕輪技師より診断士の養成状況等の説明があり、その後、耐震関連補助制度について、結城市都市建設部都市計画課の大嶋主事、つくば市都市計画部建築指導課川越主査よりの説明がありました。

第1部の総論・一般診断法、被災度区分判定では、茨城県建築士会理事・下妻支部長 軽部建築設計事務所 主宰 軽部守彦先生より、今年年頭に起きた能登半島地震や、本講習会前日に発生した宮崎県近海を震源とする地震に触れ、南海トラフ地震など今後いつ地震が起こるかわからない状況にあり、発生することを前提として早めの対策が重要であり、診断

士として関連法令の改正や各自治体の助成をいち早く把握し、住宅耐震診断や補強の必要性を所有者に周知して理解していただく事が大切であると感じました。

第2部の例題演習・精密診断、補強方法では、茨城県建築士会ひたちなか支部長 川又晴彦建築設計事務所 主宰 川又晴彦先生より、実際に耐震診断と補強を行った実例をもとに、平面図で耐震上弱点となるポイントや補強する際の注意点、予算の応じた補強方法などについて具体的な説明がありました。過去の地震を経てきた建物で実際の暮らしもあり、居住者への補強の必要性の説明と補強する場合の方法や費用とのバランスをどう図るか、私達建築士の的確な判断が求められていると感じました。

まだ木造耐震診断士の資格をお持ちでない方、更新されていない方はテキストも随時更新されていますので、是非受講をお願い致します。来年度も同時期に開催予定をしています。



講師：川又先生



講師：軽部先生



発表者 小室直樹 氏（県央支部）

「令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 千葉大会」に参加して

令和6年度6月22日（土）、23日（日）、千葉県千葉市にある「TKPガーデンシティ千葉」にて、「令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 千葉大会」が開催されました。今年度も昨年度に引き続き対面方式で開催され、合計376名もの参加者が集まりました。

今年は「建築2.1」という大会テーマの下、全体会議、分科会、懇親会等が執り行われました。

茨城県建築士会からは県央支部：小室直樹さんが、青年委員会を中心に行なっている「とうかい子どもキャンパス」での活動を発表しました。小学生を対象としてストリートファーニチャーの製作を題材に、年3回の講座を通して建築ができるまでの流れを体験できる新たな企画です。持続可能な青年委員会での活動に多くの関心が寄せられていました。

その他、第1分科会Ⅱでは、全体会議で発表された各都県の内容に関して、テーブルディスカッションが行われ、発表者と議論する場が設けられ、より詳しい話を聞くことが出来ました。また、各都県からファブリケーターを選出し、活発な議論を促しました。

第2分科会では、千葉大学大学院工学研究院創成工学専攻建築学コースの柳澤要教授から「教育施設

の再編・統廃合の実践と課題」というテーマの下、「道の駅保田小」という小学校を道の駅にコンバージョンした成功事例についての講演がありました。

第3分科会では、『非常識が「常識」になっていく時代 国内唯一の建設用3Dプリンタ企業の挑戦』をテーマとして、建設用3Dプリンタで先導する株式会社ポリウスの大岡航氏から、建設用3Dプリンタや建築業界のDXなど、テクノロジーが協働する次世代の建築業界の価値とあり方についての講演がありました。

また全体会議では、全国建築士会連合会青年委員会の活動報告を、関ブロ青年代表として出向している県央支部：藤田康広さんが、2年間の任期満了の報告と併せて行いました。

実行委員をはじめとする千葉県建築士会の皆さんの大変な準備と熱量が感じられ、大変勉強になりました。次年度は東京大会となりますが、「東京空間万博2025」というテーマの下、会場が吉阪隆正氏による公益財団法人大学セミナーハウス（八王子市）となっており、とても興味深く、今から楽しみです。



パスタタワーと一緒に記念撮影

「建築士と学ぶ身近な材料を使った いえづくりワークショップ」

令和6年8月6日（火）に東海村にある「歴史と未来の交流館」にて、小学4・5・6年生を対象とした「建築士と学ぶ身近な材料を使ったいえづくりワークショップ」を行いました。3回連続講座の1回目となる今回は、三つのグループに分かれた子供たちが、パスタを用いてタワーを作り、その高さを競い合いました。作業の前には世界のタワーを参考に、その作り方や、そこにはどんな力が掛かってくるのかを学びました。作業が始まり、作るタワーの

イメージが湧いてくると、子供たちが力を合わせてパスタタワーに必要なパーツを作りや、グルーガンを使ったパーツの固定、タワーが不安定に揺れる時には、もう一度世界のタワーを見直してブレースを追加してみたりと、考えて作ること、そして作りながら考えることを夢中になって楽しんでくれたようでした。次回はパスタを用いた橋造りを企画しています。子供たちがどんな橋をつくってくれるか、今から楽しみです。



世界のタワーの勉強中



グループに分かれてパスタタワー作り

女性委員会（わくわくセミナー）



集合写真 前列中央オーナー

「2024.5.25(土) わくわく見学会:モンゴルレポート」

■土浦支部 小林 明江

■土浦支部 赤木 裕子

筑波山山麓にゲルグランピングができたとの情報があり、5月25日（土）晴天の中、総勢12名で見学をさせていただきました。オーナーはモンゴル出身のご夫妻で、ゲルを直輸入したとのこと。ゲルの構造等についても詳しく説明をしていただき、建築士会らしい充実した見学会となりました。

■鹿島支部 内芝 良吉

住所もTELでもカーナビ受け付けず、ちかくのGSで訪ねてようやく辿り着きました。柿岡から真壁への山越えの中腹に「筑波山 モンゴル」がありました。

モンゴルスタイルのゲル（移動式テントハウス）が6棟+1（小ホール）と管理棟WC。

オーナーのアムラさんに参加者12名でモンゴルとゲル（放牧民族の移動式住居）の解説をたっぷりとお話いただき、全体見学、ゲルの内部、屋外料理場も見せて頂きました。

宿泊可能施設になっていて、基礎も床も仕上げがあり、エアコンもついてました。

モンゴル料理でのランチ、デザート・コーヒー付きでごちそうさまでした。

民族衣装の貸し出しやモンゴル民芸品等の販売、モンゴル料理も楽しめる場所でした。

アムラさんはモンゴルで日本語を学び、筑波大へ留学との事。日本語もとても流暢でした。

モンゴルと日本人は似ているようです。「筑波山ゲルグランピング」お勧めです・・・

モンゴルツアーがあれば行ってみたい国の一つになりました。

森村誠一の歴史小説「地果て海尽きるまで 小説チンギス汗」と併せてモンゴルを見て！

企画された女性委員会の皆様に御礼です。



ゲル管理棟内部にて セミナー風景



グランピング見学の様子



LIXILつくばショールームにて

「スマートハウスについて」

■土浦支部 池田 由紀代

6月24日（月）LIXILつくばショールームにて、わくわくセミナーを開催いたしました。今回のテーマは「スマートハウスについて」。便利な暮らしを提案できそうですが、なんだかややこしそうで、難しそう……。そんな不安や疑問を解消できるよう、具体的な事例紹介や実物を体感しながら丁寧にご講義いただきました。

まずは座学にて、世代によって家に求められることの違いや傾向の説明後、スマートハウスの現状、近い未来に何ができるようになるのか、準備すべき設備は何かなど、実物を操作しながら学びました。数年前に勉強した内容から大きく進化していることに驚いている参加者がおり、この分野の需要の大きさと変化を感じました。

ドラえもんの世界が現実になるのはそう遠くなさそうです。便利を手に入れられる楽しみ反面、実在しつつも目に見えないシステムの怖さは、どうしても感じてしまいました。そういった様々な感情や要望に寄り添える知識をしっかりと身につけなければ、と改めて思える勉強会でした。



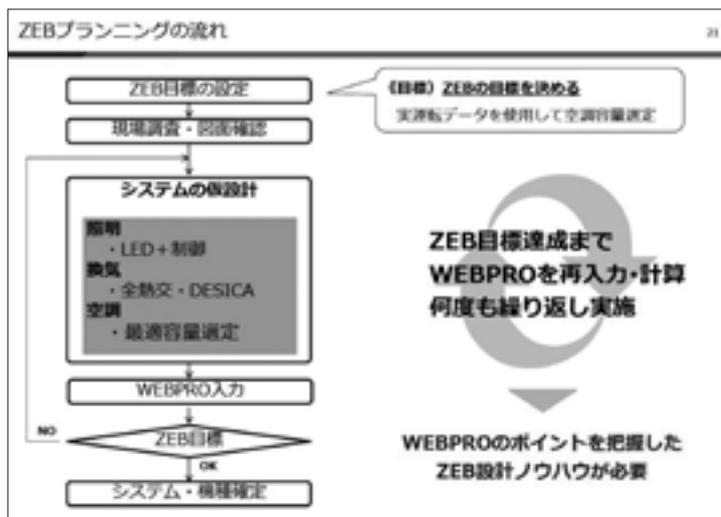
「ZEB」を学ぼう！

■土浦支部 江ヶ崎 雅代

「ZEB」（ゼブ）＝ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング について学ぶ！企画で、ダイキン工業株式会社の平田佳也氏に講師を引き受けていただきました。カーボンニュートラル実現に向けて、あらゆる用途の建物のZEB化が求められており、2025年度からの適合義務化に該当する建物も少なくありません。「ZEB」ってなに？という基本的な知識から、判定のためのプログラムの説明といった実践的な知識まで、丁寧にご説明いただきました。ダイキン工業さんは、空調機器メーカーとして、建物の性能に最適な省エネ空調設備の提案を行うと同時に、ZEBの判定業務も行っています。どのようなことをすればZEB化できるか？のノウハウがあり、新築に限らず、改修でもZEB化が可能とのこと。外皮の性能はそのまま、空調換気および照明の設備機器だけでZEB化を実現した事例など、様々な事例を交えたご説明をしていただきました。今後の提案の幅が広がる、有意義なセミナーとなりました。



セミナー資料（抜粋1）



セミナー資料（抜粋2）



セミナーの様子（中央：平田氏）



セミナーの様子

女性委員会 (ラブアークセミナー)



講師の和田氏と参加者のみなさん

「ARTISAN水府見学会 ～古民家リノベーションと活用を学ぶ～」

■日立支部 近藤 あすか

今回のセミナーでは、常陸太田市の古民家を改修し簡易宿泊所を経営されている、建築士会会員でもある和田氏ご夫妻に講師をお願いし、改修された際のお話を伺いました。

青空が広がる5月の爽やかな日に、見学会は行われました。

「ARTISAN水府」はカフェ、レンタルスペース、簡易宿泊所として昨年オープンし、都会の喧騒から離れた、ゆったりとした里山の暮らしをご提案されています。



外観のご説明



風景になじむアーティザン水府

自ら設計されたご夫妻により、内外装のご説明や改修・開発された際のポイント、カフェを設ける事で地域の方々にも大変喜ばれているお話などをお聞きし、ご夫妻の活動が空き家問題の解消や地域の活性化につながっていることを実感しました。

また、素適な雰囲気のカフェで参加者の方々と美味しいランチを頂きながら、どこか懐かしい空間に落ち着いてしまい、時間を忘れていつまでも滞在したくなりました。

今後も気軽に緑豊かな暮らしを体験できる場として、地域の方が気兼ねなく普段集まれる場として欠かせない場所になりそうです。



セミナー会場の様子

「インテリア講座」 ～今年のデザイントレンドを知る～ 世界最大級のインテリアの祭典 ミラノサローネ セミナー

■ひたちなか支部 浜中 本子

県央支部の浅子明美さんと2人で担当し、7月27日インテリア講座を行いました。ミラノ市全体がインテリアの見本市となる祭典「ミラノサローネ」について学ぶには現地を視察した方に講師をお願いしてみてもと県央支部の佐藤朋子さんから（株）ホームシック様にお声掛けしていただいたところ、株式会社アクタス・マーチャンダイジング部の家具バイヤーでNHKの番組で北欧インテリアの案内役を務めたという野口礼氏に講師をお願いすることになりました。現地を視察した写真のスライドを見せていただきながらお話しいただきました。素材の革新がない現在、家具がアート化される傾向にある。ミラノの軸はハイエンドでエレガントである一方、北欧デザインは路線の違いからか離れていく傾向にあることなど印象的なキーワードをお聞きすることができました。その後、実際にホームシックStyle Shopに展示している家具を見ながら素材について、世界的に認められた名産地について話していただいたり、世界的に有名でこれを知っていれば間違いのないというブランド名を教示していただいたり、日本

人で世界に名の知れたデザイナーや今年はこの色がよく使われていたというトレンドについてとにかく細かく御講義いただきました。



講師 野口礼氏

それから、ホームシック様に会場を貸していただいたのですが、有名ブランドの椅子に座りながら講義を聴かせていただいたのには驚きました。私自身話の中に出てきたメーカー名をなるべく忘れないよう書留めたのですが、たくさんありすぎて家に帰ってインターネットで検索して復習しました。忘れないようまた勉強していきたいと思いました。

環境に優しい居住環境を考える

建築設計監理・開発行為・各種許認可代行
社寺仏閣・歴史的建造物調査

一級建築士事務所 茨城県知事登録 第A-3717号

武村建築設計事務所

Office 茨城県桜川市真壁町古城301-1
TEL 0296-54-2023 FAX 0296-54-2023
E-mail arctake3013@yahoo.co.jp



有限会社 高槻建築設計事務所

代表取締役 高槻 一雄

〒310-0804 茨城県水戸市白梅2丁目9番20号
TEL 029-231-8461 FAX 029-231-8594
E-mail avd06303@nifty.com
URL <https://www.takatsuki-arc.com>



有限会社 アップル建築設計事務所

Hiroyuki Suzuki
代表取締役 鈴木 啓之
一級建築士

〒315-0052 茨城県かすみがうら市下稲吉3211-45
TEL.0299-59-6345 FAX.0299-59-6347
E-mail : apple-ac@jcom.home.ne.jp Home-Page <http://apple-architects.jp/>

建築塗装・防水工事・広告看板

熱を消す不思議なハイブリッド塗料「**熱交換塗料・タフコート**」
暑さ・ECO(電気料金の削減)対策!・炎天下のアスファルト・プールサイドも素足で歩ける

株式会社 タケイ・アーツ

■ TEL 0299-23-1738 ■ FAX 0299-24-2552 ■

2018~2024



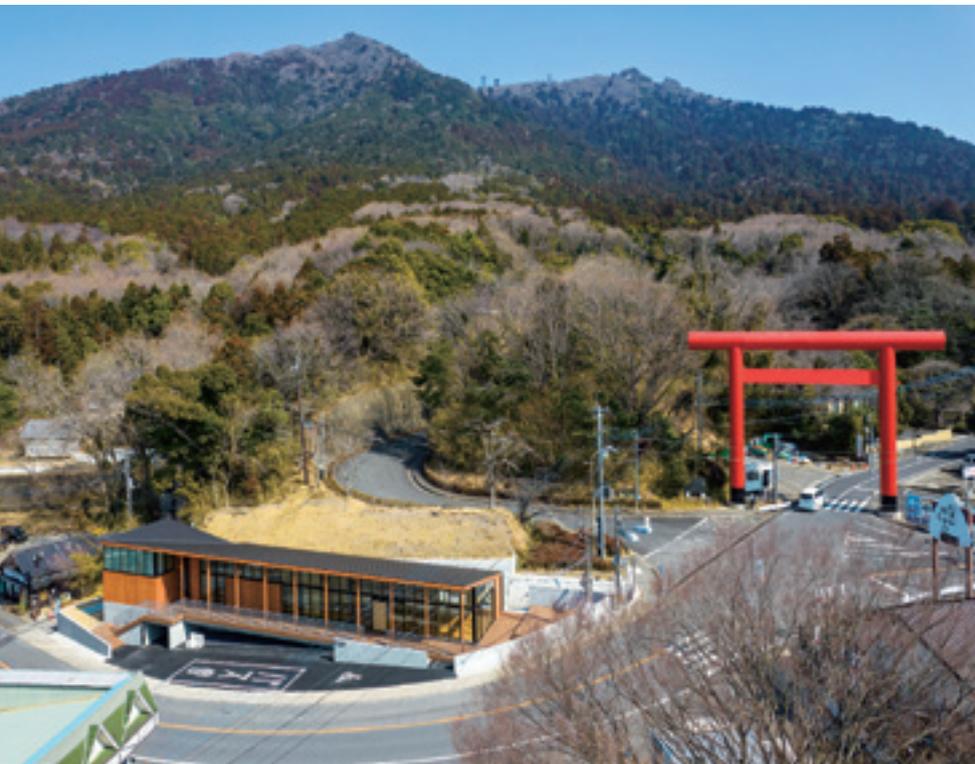
SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

since 1967

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階
TEL 029 (227) 0222
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



携帯サイト